

発行所: ほしの直美後援会事務所

八王子市松木4-6 電話 042-689-6312 FAX 042-689-6317

E-mail: info@hoshino-naomi.com URL: http://hoshino-naomi.com

笑顔と幸せ★八王子!

八王子市議会議員

ほしの 直美



- ☆1968年生まれ ☆松木在住 ☆鷗友学園女子高等学校卒業
- ☆東京理科大学大学院修士修了(工学修士)
(研究テーマ:ワーク・ライフ・バランス)
- ☆趣味:読書・音楽鑑賞・お祭り・ゴルフ・テニス
- ☆所属委員会
 - 都市づくり・ニュータウン対策特別委員会委員長
 - 厚生委員会委員 ○議会運営委員会委員
 - 国民健康保険運営協議会委員

平成29年度予算総額 1971億円 ~次世代の夢と希望の100年のために~

○予算全体をみると、29年度の歳出に占める民生費の割合は自然増の52.3%。税金は前年比で17億5千万円の減少。今後は更に、精緻な見積もりと財源確保が課題であるという思いです。安定的な財政運営が図られるよう提言をし、今議会では予算案に対し賛成討論を行いました。

100周年という記念の年を迎えます。まちが賑わい、活力が創出できるよう取り組みます。

100周年レガシーとは、施設整備だけではなく、幅広い世代のボランティア意欲の向上のようなコミュニティ強化や、誰でも安心して利用できる社会インフラの整備、観光客や観光消費増加の期待、失業者への雇用創出など、経済成長にもつなげることが期待されており、次の100年に向けてまちづくりという視点での基盤整備ができる好機と捉えています。



一方で、市民の負担にならないようしっかりとチェックしてまいります。また、メイン事業

である「全国都市緑化八王子フェア」は富士森公園をメイン会場として、南大沢駅周辺など6カ所のサ

テライト会場で開催されます。100周年関連予算10億円のうち8億円のイベントとして相応しくなるよう各事業を重層的に、コンセプトに忠実に実施することが求められます。さらに、八王子市の魅力を全国へアピールする場という役割も課せられており、職員がより高い意識で取り組むよう提言しました。

女性活躍推進法が施行される中、市内企業の殆どが10人規模の中小企業です。地域にあった取り組みが必要です。

少子高齢化の進行による生産年齢人口の減少という社会背景の中で、これまで埋もれていて有効に活用されてこなかった資源の中には女性も含まれています。近年、市内の企業立地の特徴は、大手企業の研究所の新規立地が進んでおり、八王子市の潜在的な労働力など優れた経済資源が活かされる取り組みが必要です。働き方改革や女性活躍という言葉だけを独り歩きさせずに、働く人の声を聴き、ワーク・ライフ・バランスの推進など、地域事情にあったより一層の就労促進への政策誘導の推進を提言しました。



子ども子育て支援。乳幼児期から就学、進学、就労などの節目で困ることがないよう「マイ・ファイル」を作成します。

特別な支援を要する子どもたち一人ひとりの特性に応じた切れ目のない支援がスタートします。

また、待機児童対策として今年度は本庁舎内に設置する保育施設を含めた小規模保育施設2か所と事業所内施設1か所の施設整備をします。若い世代が安心して妊娠・出産・子育てができる環境づくりは若い人材の確保につながると期待しています。

「子育てしやすいまちNO.1」を目指す取り組みを積極的にアピールし、選ばれるまちづくり、延いては定住人口増加につながるよう提言しました。

国民健康保険特別会計では、被保険者数の減少により保険税収入は減額となりました。

一方、医療の高度化による医療費の増が見込まれています。一般会計の繰入金のうち、赤字繰り入れは66億円となっており、税負担の公平性も議論されているところです。国民健康保険法には国保事業運営における国の適切な財政支援の責任が明記されており、今後、国が地方の実情を鑑み、自治体間で格差のある財政状況や保険料水準などを踏まえた丁寧な議論を得て、広域化も含めた制度改革を着実に実施することを期待しています。

豊洲新市場移転解明のために設置された「百条委員会」のスタッフとして参画

都民の一人として築地移転という歴史が変わる瞬間に立ち合いたいと思い、証人尋問のための資料を、バブル崩壊からの会計処理と、土壌汚染処理に関することに焦点を当て



まずは読むことから始めました。最初に東京ガスから届いた資料は段ボール100箱ほど。その後、五月雨式に箱の数は増え続けその中には、平成3年～平成17年頃までの護岸工事や区画整理について行った都庁と東京ガスとの会議資料や関連し

ている配布資料、手書きのメモ、メールのやり取り、株主総会の資料、工事の工程表や確認書類も含まれていました。今とは違う過去の時代背景の中で、都

民にとって何が必要な判断だったのかを検証する作業は、自分にとつ



ても考えさせられることがたくさんありました。

そして、会計処理の中から見えてきたのは、バブル崩壊後の特別会計は赤字が続いており、当時の予算書には「財政再建団体転落回避のために」という文言もありました。

証人尋問について、連日報道されているように

「記憶にない」という発言が連発されていますが、都庁という巨大組織の中で、都民にとって本



当に大事な判断が、縦割り行政の壁を越えて、きちんと都民や市場の皆さんの声を代弁し、全庁的な検討がなされていたのかという疑問です。

先日、会派の有志と築地市場へ視察に参りました。早朝のマグロの競りや、ターレーを乗り回す仲卸の人たち。活気に満ちあふれていましたが、仲卸や場

外には豊洲移転で撤退しているところも目立っており、現場のお話を伺い勉強になりました。知事が変わらなければ、これだけの問題も明らかにされず、築地市場は豊洲へ移転していたはず。議会に関わる



一人として、責任の重さを実感しております。地域の声に偏りなく耳を傾け、現場に足を運び、議会で審議をするための知識を身につけることの大切さを改めて感じました。



☆後援会のご案内☆

後援会にご入会いただいた皆様には、市政報告書の送付及び後援会行事のご案内などをさせていただきます。お申し込みは、下記まで！

E-mail : info@hoshino-naomi.com

☆ご連絡お待ちしております☆